

リーダーを養成するプログラムの概要、特色、優位性

(広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダー養成の観点から、本プログラムの概要、特色、優位性を記入してください。)

【概要】

われわれ人類はいま、地球環境と文明社会の持続可能性という大きな課題に直面している。そして、気候変動・市場のグローバル化・急速な人口変動などの諸課題に対して、さまざまな決断に迫られている。このため、これからの時代を牽引するグローバルリーダーには、専門分野における世界でトップレベルの業績(専門性)、持続可能性に関する広範な知識(学際性)に加え、専門・学際科学の成果を統合し課題解決への決断を下すための新たな学識(統域性)を持つことが求められる。またグローバルリーダーには、国際社会においてプロジェクトを提案し、明確なプレゼンテーションによって人々を説得し、さらに課題解決に向けての協働作業を組織・推進する指導力が必要とされる。

本プログラムではこの要請に応えるために、**3つの学識(専門性・学際性・統域性)と4つの実践的能力(国際力・研究提案力・プレゼンテーション力・指導力)**を修得できる5年一貫のカリキュラムを大学院生に提供する。3つの学識については、以下の方針で教育を行う。

専門性：多芸に秀でるための唯一の道は、まず一芸に通じることである。この観点から、本プログラムでは主専攻における専門教育を通じて、世界でトップレベルの実力を身につけさせる。この実力を養成するため、主専攻教育に加え、研究計画法と論文作成法の教育を英語で実施する。

学際性：本プログラムでは、**座学よりも現場経験を通じて実践的に学際性を身につける**ことを重視する。このため大学院生は、以下の重要課題に関する5つのモジュール(異分野の教員・大学院生チーム)のいずれかに所属し、国際共同研究プロジェクト(カンボジアの持続的森林利用、国際災害調査、バングラディッシュの疾病管理、地方自治のガバナンスなど)を通じて国内外での現場経験を積みながら、問題解決型の科学を実践的に学ぶ。

- ①**環境**(環境保全)：食糧生産・エネルギー供給との両立を通じ、持続可能な環境利用を実現する。
- ②**災害**(防災・復興)：災害時の被害を最小化し、災害に対する復興力の高い社会システムをつくる。
- ③**健康**(健康改善)：従来の医療の枠組みを越えて、社会的な健康管理システムを確立する。
- ④**統治**(ガバナンス)：縦割りを打破し、法律・制度・経済のよりよいガバナンスを確立する。
- ⑤**人間**(人間の社会的協力)：多様な価値観を持つ市民の協力・協働を通じて、豊かな社会を作る。

統域性：**オールラウンド型科学として「決断科学」を開拓**し、この科学を軸としてオールラウンド型リーダーを養成する。専門・学際科学の成果を問題解決に生かすには、多くの選択肢の中からひとつを選ぶ「決断」が必要である。決断科学とは、このような決断を成功に導く方法論に関する科学である。決断を成功させるには、さまざまな不確実性と価値観の多様性を考慮する必要がある。このためには、確率・統計の理解に加え、人間の心理・行動に関する体系的知識が必要である。本プログラムでは、医学、心理学、生態学、経済学などの諸分野で研究されてきた人間の心理・行動に関する研究成果を体系化し、大学院生とともに論文・総説・教科書を出版する。大学院生はこの過程を通じて「決断科学」を主体的に学び、統域的な思考力を習得する。

さらに本プログラムでは、**多くの学生にリーダー経験を積ませる**ことで、指導力のあるリーダーを養成する。このため、組織研修ワークショップを年1回、合宿形式で開催する。この合宿は学年リーダー、およびモジュールリーダー計10名から構成されるリーダー会議が中心になり、学生が自主的に企画・運営する。「どうすれば指導者として成長できるか」「組織をうまく運営するにはどうすればよいか」「どうすれば適確な決断ができるか」という3つの基本課題を与え、これらの基本課題について学ぶための講演、グループ討論などのプログラムを学生に企画させる。学年リーダー、およびモジュールリーダーは毎年交代し、多くの学生がリーダー経験を積む。本プログラムでは毎年20名の受け入れを予定しており、初年度には2年次からの参加も認め、40名でスタートする。4年後には100名規模となる。この100名規模のチームを運営する経験を通じて、指導力を育てる。

【特色と優位性】

①オールラウンド型の科学として「決断科学」を開拓し、この新しい科学を軸として、専門的・学際的知識を問題解決に向けて統合する力を持つオールラウンド型の人材養成を図ること、②問題解決型の国際共同研究を企業・行政と協力しながら進め、その現場経験を通じて学際性を実践的に身につけさせること、③学生に100名規模の組織を運営する経験を通じて学生の指導力を育てることが、本プログラムの独自性・優位性である。

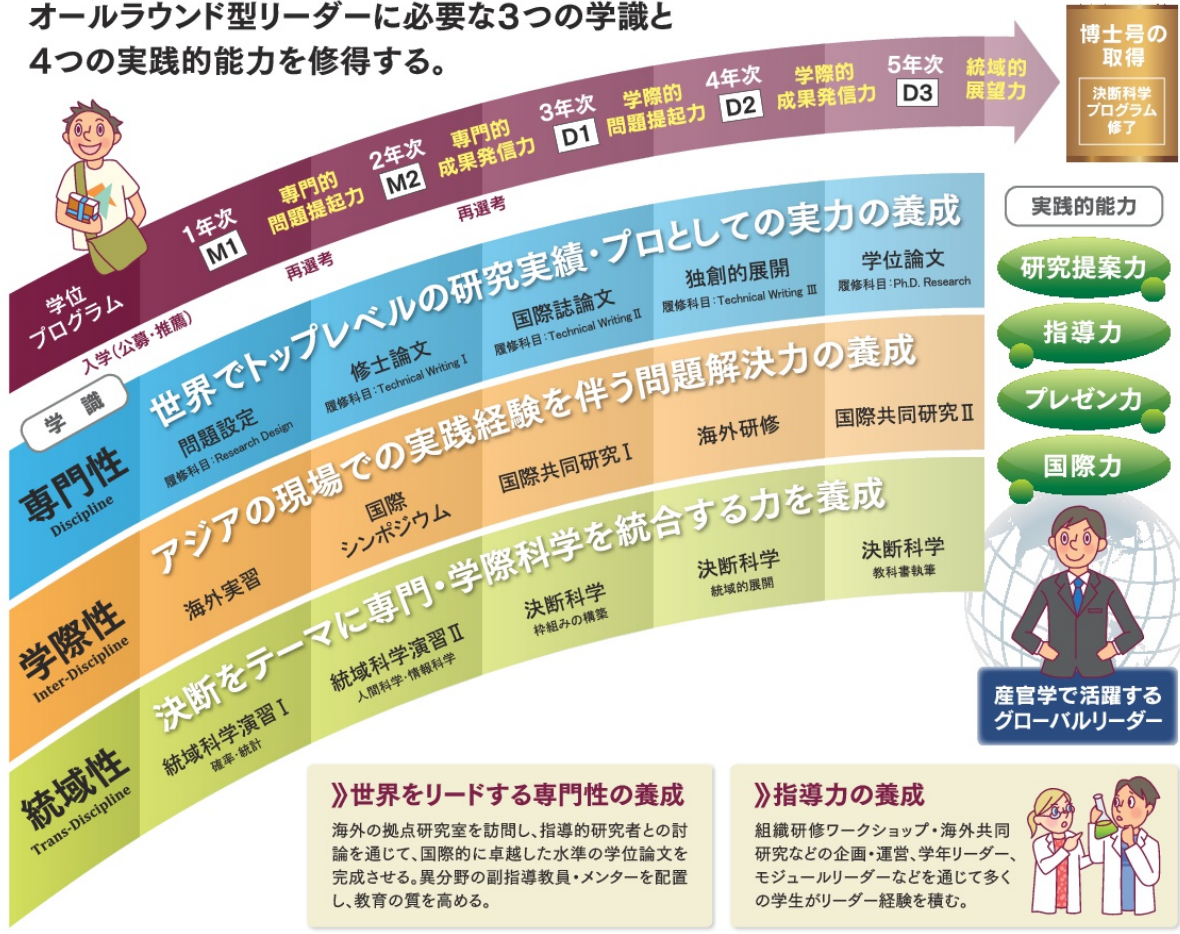
学位プログラムの概念図

(優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーとして養成する観点から、コースワークや研究室ローテーションなどから研究指導、学位授与に至るプロセスや、産学官等の連携による実践性、国際性ある研究訓練やキャリアパス支援、国内外の優秀な学生を獲得し切磋琢磨させる仕組み、質保証システムなどについて、学位プログラムの全体像と特徴が分かるようにイメージ図を書いてください。なお、共同実施機関及び連携先機関があるものについては、それらも含めて記入してください。)

持続可能な社会を拓く決断科学大学院プログラム

i. 世界を牽引出来るリーダーの養成 ii. 持続可能な社会の実現

オールラウンド型リーダーに必要な3つの学識と
4つの実践的能力を修得する。



》5つの学際モジュール

環境、災害、健康、統治(ガバナンス)、人間(人間の社会的協力)という5つの課題について、モジュール(異分野の教員・大学院生チーム)を組織し、現場経験を伴う実践的な学際教育を実施する。

》プレゼン力の向上

スーパープレゼンテーション(TED)をモデルとする英語によるプレゼンテーションセミナーを実施し、高度な表現力を習得させる。学生のプレゼンテーションは、可能な限りインターネットで公開し、広く外部からアドバイスを受ける。

》決断科学の開拓

問題解決型の新しい科学(統域科学)として、決断科学(不確実性・価値観の多様性を考慮して決断し、その決断を成功に導くための科学)を開拓する。大学院生は決断科学を主体的に学び、統域的な思考力を修得する。

》国際力の強化

カンボジア森林保全、国際災害調査、バングラディッシュ疾病管理、韓国・ガバナンスプロジェクト等に参加し、行政・産業界・海外機関とも協力して国際経験を積み、現場対応力を強化する。

プログラムサポート

- 国内外の第一線で活躍する特任教員を採用し、国際的な学修研究環境を日常的に提供する。
- 学生に奨励金、研究費を支給し、主体的に独創的な研究を計画・実施することを奨励する。
- 学生の成長をビデオ映像で記録する。学生は自分の課題をポートフォリオで確認しながら、本プログラムの課題に取り組む。